

〔子ども食堂こっこ〕

【団体の概要】

子どもの孤食解消、居場所作り、および多世代の地域交流を目的として、平成 29 年 4 月よりららぽーとそばの湊町地区で、毎月第三日曜日の 12 時～14 時に子ども食堂を開催しています。子どもだけでなく大人も参加できます。

食事代は中学生までは無料、大人からは協力金として 500 円いただいております。



【子ども食堂こっこのスタッフ】

事業報告

【支援金確定額：4,038 円 支援率：17.9%】

■実施した事業の内容

こっかが街にやってくる

より多くの子どもや大人たちに、子ども食堂の楽しさや意義を体験して知ってもらうため、普段子ども食堂を開催している湊町地区を離れて、宮本地区下宿自治会館にて「出張子ども食堂」を開催（2019 年 3 月 16 日実施）。子ども食堂に来るのは初めてという小学生や乳幼児を連れた母親、家族連れが多数参加。地域の民生委員や小、中学校の校長・教頭先生も来場した他、地域の中学校の親父の会有志 11 名も見守り協力をしてくださった。参加者は子ども 38 名、大人 37 名。スタッフ 34 名。実施のための使い捨て容器の経費を支援金から支出しました。

こっこで学ぼう

船橋市の豊かな漁業、農業を子ども達が知る入り口となる企画。子ども達が仕事に従事している人の話を直に聞き、魚や野菜に触れることにより漁業や農業に関心を持ってもらい、食べ物を大切にする心を養うことが目的。子ども食堂ならではの企画として、魚介類や野菜を提供いただいている漁師さん、農家さんのご協力のもと計画を立てました。「お魚教室」（2018 年 6 月 24 日実施）では、子ども食堂開催時にお借りしている喫茶店に船橋港の漁師山本氏を講師に招き、船橋の漁業についてスライドで学んだ後、船橋港で水揚げしたスズキを子ども達の目の前でさばいてもらいながら、魚について解説をしていただいた。その後うしお汁にして全員で食した。普段は魚が苦手という子どもも美味しく食べられた。魚に触ってみたり、講師の先生に質問したりと、子ども達の感心の高さが伺えた。参加者は 19 名。引率の大人も 10 名参加。実施のためのスズキ等の経費、講師への謝礼を支援金から支出しました。「農業体験」（2018 年 11 月 11 日実施予定）は、高根町の農家さんの協力を得て、8 月末に種を植えていただいたニンジンの収穫を体験する予定であったが、10 月に襲った台風の影響でニンジンの生育が大幅に遅れる見込みとなり、実施を断念。中止を惜しむ声も多数ありました。バス代及び保険代、実施のための経費を支援金から支出予定でした。



【お魚教室の様子】

■事業の成果と今後の展望

「出張子ども食堂」では「初めて子ども食堂に参加したがとても良い取り組みだ」「また開催して欲しい」という声もいただき、利用者の拡大と子ども食堂への理解を広げることができました。継続開催を望む声も多く、今後も開催していく予定です。こっこで学ぼうの「お魚教室」と「農業体験」は、子どもの関心も高く、より多くの子どもに体験してもらいたい内容であり、一家庭では実施できない子ども食堂ならではの企画として次年度も本助成を受けて実施したいと考えております。

■問い合わせ先：代表 笹田 明子（ささだ あきこ）
TEL：090-1760-3907

Eメール：akikosasada2@gmail.com